



おおだて 市議会だより

98号

平成22年11月1日

平成22年 **9**月定例会

(会期：8月31日～9月16日)

- 主な議案等の審査結果（9月定例会、第1回臨時会） … P.2
- 一般質問 …………… P.4
- 決算特別委員会の設置 …………… P.8
- 大館市政治倫理に関する条例の一部改正 … P.9
- 私もひ・と・こ・と …………… P.10

五色湖まつり ニジマスつかみどり
平成22年10月10日



主な議案等の審査結果

9月定例会（会期：8月31日～9月16日）

内訳：報告1件、単行案3件、条例案1件、予算案14件、人事案1件、認定24件、設置2件、請願3件、陳情1件、継続審査分請願2件・陳情20件

主 な 案 件 ・ 内 容	結 果
<p>○市立病院使用料及び手数料に関する条例の一部改正</p> <ul style="list-style-type: none"> 市立総合病院にセカンドオピニオン外来を設置します。 セカンドオピニオン相談料は、1回（30分以内）につき1万500円（税込み） ただし、相談時間が30分を超えたときは、30分ごとに5,250円を追加 ※セカンドオピニオンとは、医師の診断や治療法について、患者が別の医師の意見を求めることです。 	原案可決
<p>○一般会計補正予算案（第3号）</p> <ul style="list-style-type: none"> 来春に予定されている県議会議員一般選挙の費用 1,137万2,000円 来春に予定されている市長・市議会議員一般選挙の費用 2,081万9,000円 地上デジタル放送が受信しにくい地区（西大館）の共同受信施設設置に対する補助金 1,109万3,000円 母子家庭のみ対象としていた児童扶養手当を父子家庭にも支給 2,010万6,000円 粗大ごみ処理場の修繕料（スプレー缶混入により一部設備が爆発） 256万8,000円 コンポストセンターの大規模改修費用 9,800万円 地域おこし協力隊事業費 351万8,000円 首都圏などに住んでいる方に大葛地区に移住してもらい、地域の新しい担い手である協力隊員として活躍してもらおう 除雪費（業者への委託料、除雪車の借上げ料、運転手賃金など） 3億1,984万4,000円 旧正札竹村の新館棟（中町側）の改修工事費など 2,591万1,000円 秋田県の（仮称）県北生活相談センター、（仮称）起業支援室を1階に開設 消防ポンプ自動車（消防署比内分署）の購入費 3,000万円 など 	
<p>○一般会計補正予算案（第4号）</p> <ul style="list-style-type: none"> 7月下旬に発生した豪雨による被害の災害復旧費 など 	
<p>○ 人権擁護委員の候補者の推薦</p> <p>高 松 イ ク 氏（下 町） 畠 山 敬 子 氏（餌 釣）</p>	異議なし

第1回臨時会(会期:7月23日)

内訳:専決処分の報告1件、報告1件、単行案1件、予算案1件

主 な 案 件 ・ 内 容	結 果
有浦保育園改築建築工事の請負契約の締結 ・有浦保育園の園舎の建替えのため、工事を行う相手方と契約	原案可決
一般会計補正予算案 ・住宅リフォーム補助金の申込みが当初見込みよりも多かったため追加 3,500万円 など	

請願・陳情

9月定例会に提出されたもの

請 願	大滝大橋の歩道確保のための拡幅工事について	採 択
	米価の大暴落に歯どめをかけることを求める意見書の提出要請について 免税軽油制度の継続を求める意見書の提出要請について	継続審査
陳 情	司法修習生の給費制の存続を求める意見書の提出要請について	継続審査

継続審査となっていたもの

継続審査となっていた請願・陳情合わせて22件のうち、請願・陳情各1件が趣旨採択、陳情1件が不採択となりました。また、請願1件、陳情2件が提出者の申し出により取り下げとなり、残りの16件は再度、継続審査となりました。

請 願	米価の下落に歯どめをかけ、再生産できる米価の実現を求める意見書の提出要請について	趣旨採択
	旧上川沿小学校跡地の活用(児童館の市有地移転)について	取り下げ
陳 情	最低賃金の大幅引き上げと全国一律最低賃金制度確立を国に求める意見書の提出要請について	趣旨採択
	鳥獣被害防止特措法関連予算を鳥獣捕殺ではなく自然林復元と被害防除に使うこと等を求める意見書の提出要請について	不採択
	最低賃金の大幅引き上げと全国一律最低賃金制度確立を求める意見書の提出要請について JR不採用問題の早期解決を求める意見書の提出要請について	取り下げ

一般質問

会期中の9月6日に一般質問を行い、次の6議員が市政を取り巻く諸問題について市の方針をただしました。

主な質問と応答の内容は次のとおりです。

○質問者 (質問順)

① 富 樫 安 民 議員
(市民クラブ)

② 笹 島 愛 子 議員
(日本共産党)

③ 千 葉 倉 男 議員
(平成会)

④ 田 中 耕 太 郎 議員
(いぶき21)

⑤ 安 部 貞 榮 議員
(いぶき21)

⑥ 佐 々 木 公 司 議員
(いぶき21)

富 樫 安 民 議員



市職員定員適正化 計画の策定について

〈問〉 新規採用枠は増やし、退職者の再任用は慎重に。

〔市長〕 再任用は新規採用枠に影響するため、専門性の高い業務等への配置を基本に検討する。新規枠は地元雇用、年齢構成の是正からも重要である。

〈問〉 新計画には福祉・医療や社会教育施設(公民館・図書館・博物館)に配慮し、指定管理者制度は導入しないほしい。

〔市長〕 行財政改革大綱により将来人口・財政規模・主要事業の進み具合を考慮し、必要な部署には増員を図りたいと考えている。

大町の活性化について

〈問〉 借上げする大町市営住宅(30戸)の入居者への市費負担は公平性を欠く。また、市営住宅借上げが大町活性化の起死回生となるのか。

〔市長〕 入居要件に所得制限は設けない。近年の住民ニーズによりオール電化とする。入居者や旧正札新館棟利用者などによる相乗効果に期待している。

〈問〉 旧正札ビル等空き店舗活用策を市民は期待しているのか。

〔市長〕 利活用方法を各機関でも検討しており、市民生活に必要な公共施設の設置で利便性の向上や周辺のにぎわい創出の期待につながると考えている。

畜産農業施設の 環境対策は

〈問〉 養豚企業進出には、まず地域住民の不安解消策を。

〔市長〕 臭いや排水面での理解を求めてきた。さらに地域住民・関係団体とも連携し、操業後も周辺環境を監視する。

〈問〉 比内地鶏鶏ふん処理施設及び既存畜産施設の悪臭対策は。

〔市長〕 畜産施設周辺の悪臭による苦情への対応に苦慮している。コンポストセンター大規模改修に合わせて縦型密閉式発

酵処理装置を比内地鶏鶏ふん処理場にも導入する。その効果を検証し、他の施設にも紹介し「におい対策」の指導を徹底したい。

放課後子ども 対策事業について

〈問〉 保護者から安全・安心の居場所として喜ばれているが時間延長等の要望もある。

〔教育長〕 すでに7月から一部地区で時間延長を試行している。合併後、5年が経過したため、地域の実情を把握して、改善を検討したい。

〈問〉 指導員の配置の見直しと労働条件の改善について。

〔教育長〕 どの施設でも代替職員を配置し、無理のないようにしている。賃金は職種により差があるため、内容を精査したい。



大館市コンポストセンター

ささしま
あいこ
議員



税金の滞納に
加算される延滞金に、
減免基準を設けること

〈問〉税金を納めることができず、滞納してしまいうには、それなりの理由があるもの。滞納した分を一括で払うのが無理で分納にするとしても、未納分にさらに新年度分の税金が加わるため、払ってもいっこうに金額が減らないという状況になる。今こそ延滞金を減免する市独自の規程をつくるべき。

〔市長〕納期限までに税金を納付できなかった方からは延滞金を徴収している。しかしながら、税金の滞納はさまざまな原因により発生しており、納付が困難と認められる場合には、納税を猶予するなどの徴収緩和制度を活用し、税法の規定に基づいて延滞金を減免する取り扱いとしている。今後は市独自の減免基準についても検討する。

休日夜間急患センターと
図書館は、指定管理者制度を
導入せず市直営で



大館市立中央図書館

〈問〉第4次行財政改革大綱では、公の施設への指定管理者制度導入をさらに推進するとしている。この方針は、行革大綱の目的でもある「市民福祉の向上を図るため、質の高い市民サービスの提供を目指すこと」とは相入れないものである。中でも、人の命にかかわる重要な部署である休日夜間急患センターは指定管理者の計画からはずすよう求める。また、図書館についても、市の教育施設、市民の文化教養の拠点と位置づけて、今までどおり市が直営するよう求める。

〔市長〕休日夜間急患センター

1と図書館については、第4次行財政改革大綱で、指定管理者制度の導入を検討し、その方向性を見出すこととしている。

「買い物難民」を
なくすため、行政と住民が
知恵を出し対策を

〈問〉食料品の買い物に不便を感じている人は、全国で600万人とも800万人とも言われている。買い物難民の多くは、大型店の撤退や商店街の衰退のあおりを受けた、交通手段を持たない高齢者である。一朝一夕にはいかない問題だが、今こそさまざまな方法を考えるときではないか。

〔市長〕田代地域のアンケート調査でも、「買い物に困っている」と115世帯が回答している。また、市の訪問調査でも、多くの高齢者の方から「日常の買い物に困っている」との声が直接寄せられている。いろいろな業種の方々とも情報を共有したうえで、中心市街地活性化や、限界集落対策とあわせて取り組んでいく必要があると考えている。



ちば
くらお
議員



大館市の障害福祉計画について

〈問〉多少、身体が不自由であつても生きる権利は当然ある。こうした人たちが安心して暮らせる政治の実現こそが福祉社会の基本であると思うが、市長の福祉に対する考え方はどうか。また、障害福祉計画の見直しが必要と思うが。

〔市長〕市の現計画の期間にかかわらず、国で新たな制度改革がなされた場合は見直しを行い、さらなる充実を図る。

日中一時支援事業と
デイサービス事業の
強化について

〈問〉日中一時支援の利用者は年々増加しており、この事業の充実・強化や施設の充実など、十分な配慮・手当てが必要と思うがどうか。児童デイサービス事業の設置を求め、さまざまな議論がなされているようだが、

できれば日中一時支援と並行して行うなど、親の会や関係者からはぜひ実施してほしい旨の要望もあり、これにこたえるべきと思うがどうか。

〔市長〕この事業を実施していただける法人等に対しては、実施の際の事務手続きを含め、可能な限り支援したい。日中一時支援事業の利用者の多くが児童デイサービス事業への移行を希望しているので、指定事業所の条件整備を含めてご相談に応じたい。

精神障害者対策等について

〈問〉相談支援事業、グループホーム、ケアホーム、生活介護等にたくさん課題があるが、福祉で一番遅れているのが精神障害者対策であり、その施設の中には事業の継続が難しくなってきたところもあるようだ。今後のあり方についても検討を加えるべきと思うがどうか。

〔市長〕本市が中心となって関係団体と連携しながら、精神障害者の社会復帰を促すための日中活動の場や気軽につどえる場、居住の場、就労の場等の整備とあわせ、作業所のあり方についても現在十分に協議しながら検討を重ねているところである。

市道達子森合線の 田尻交差点に 信号機の設置を

〈問〉 レジヤアの多様化による道路交通の質的变化、経済活動の活性化等により交通量が増加し、重大な事故が多発している。今後さらに交通量が増加する場合、信号機の設置が急務となる。その必要性和今後の見通しはどうか。

〔市長〕 関係団体と連携し、早急に設置するよう強く要望する。



事故が多発している田尻交差点

田中 耕太郎 議員



熱中症対策と救急対応について

〈問〉 どのような対応を指示しているのか。

〔市長〕 小・中学校では校内・校外活動において水分補給の指導を行い、高齢者には地域包括支援センターを通じ指導と状況確認を徹底し、市民に対しては日々業務の中で例年にも増して周知を図ってきた。

〈問〉 蔵市において老人が熱中症と見られる症状で倒れているのを管理人が119番通報したが、病院に搬送されず、翌日、自室で死亡していた事件で、消防署の司令者から消防署の別の加入電話に再度かけ直すように指示されたとのこと。当市では、指令などの救急事案を誤ることはないか。

〔市長〕 通報者からの電話が長くなったため通常電話にかけ直すよう指示したが、その後電話がなく、救急出動せずに発生

した痛ましいケースである。本市では、まず出動し現場をいち早く確認するよう指示している。

〈問〉 比内・田代分署にも救急車が配備されたが、救急救命士の配置も含め、これまで分署配備後の問題はなかったのか。



比内分署に配備された救急車

確保に向け、救急救命士養成も順調に進んでいる。

〔市長〕 市民の安全・安心の確保に向けて、救急救命士養成も順調に進んでいる。

シエネルギー医薬品の 使用促進について

持管理、使用期限について丁寧に説明している。

〈問〉 少子高齢化が進む地方自治体にとって医療費の削減は深刻な課題で、国保会計の見直して税率が平均2%値上げされ、市民から非常に重い負担と言われている。シエネルギー医薬品の使用促進について、地元医師会・薬剤師会等と話し合い、具体的な働きかけをしているのか。

〔市長〕 国保被保険者の負担軽減と医療費抑制を図るため、シエネルギー医薬品普及促進事業を重点項目として取り組んでおり、医師会・薬剤師会に対しご協力をお願いしてきたところである。利用促進策として出前講座や講演会の実施に力を入れ、地元企業であるニプロファーマ株式会社より講師を派遣していただき実施している。今後もシエネルギー医薬品普及促進を継続していく。

〈問〉 急性期医療を担う総合病院がシエネルギー医薬品を使うことに抵抗はないのか。

〔管理者〕 基本的に院内薬事委員会において十分検討を行い、医師が責任を持って採用を判断している。当院としては今ままで以上に医療従事者に対する情報提供体制を実施させ、さらなる



住宅用火災警報器
設置済シール

〈問〉 住宅用火災警報器の設置状況はどうか。設置後、電池切れなどでいざという時、役立たずにならないか。設置後の管理は。

〔市長〕 職員が戸別訪問して普及啓発活動を行っており、維

市の農産物加工品開発と 所得向上策について



安部 貞栄 議員

使用拡大に努めている。患者さんに対しては処方せんの様式を変更し、シエネルギー医薬品を選択しやすいよう整備している。病院広報等を通じ普及啓発に一層努めてまいりたい。

〈問〉 市特産の山の芋の加工品開発への市の取り組みは。

〔市長〕 県内の加工業者と共同で冷凍とろろ商品を開発したほか、大館北秋商工会ではシエネルギーやお菓子などの新商品開発を進めている。

〈問〉 市民に加工品を食べてもらおうなどの取り組みは。

〔市長〕 アメッコ市やとりの市などのイベントでPRしているほか、新しい料理方法として「お好み焼き風まんま焼き」などを紹介している。観光客には

冷凍とろろ商品を利用した「大文字鍋」を提供している。

〔市長〕 枝豆・米粉・ソバなどの加工品への取り組みは。

〔市長〕 全国的に見て、米粉のパンや麺・お菓子の製造などで実績を上げているケースもある。市でも給食の米粉パンの拡大や枝豆・ソバなどの加工品の研究に努め、地場農産物の加工品製造・販売等に意欲的な農業者を積極的に支援したい。

〔市長〕 国の社会的企業人材創出・就業体験事業や起業初期段階を支援する社会起業育成事業を導入し、農業の6次産業化に向けた人材育成に取り組むべき。

〔市長〕 22年度から農業後継者育成事業で、8戸の農家に10人の研修生を雇用しており、23年度も継続して行う。また、国の事業導入も検討したい。

〔仮称〕食育推進条例の制定は

〔市長〕 食は命の源であり、世代を超えて自然や農業・教育・健康など、すそ野の広い分野で、市民とともに取り組むため、(仮称)食育推進条例を制定する考えはないか。

〔市長〕 昨年度より大館市食育推進計画を策定して推進しているが、今後もより多くの市民の参加を得ながら、随時計画の見直しを図るとともに、条例の制定についても検討したい。

大町周辺のにぎわい創出と市営住宅の改築について

〔市長〕 まちなか再生成功のキーワードは「個性の創出、多様な主体の参加、住民の参加によるにぎわいの創出」であると言われているが、ハチ公小径への出店は5店舗とも市外業者との新聞報道。旧正札竹村への県関連施設の入居、PFI方式による市営住宅の改築など、大町周辺の全体構想や都市計画マスタープランの大館東地域構想を住民と話し合うべき。

〔市長〕 出前講座や秋田まち育て塾・商工会議所・大町商店街振興組合との協議、住民への説明会等で広く意見を募集した。今後も幅広く意見を求め、市民が暮らしやすいまちづくりを進める。



市営向町住宅

佐々木 公司 議員



記録的猛暑による影響とその対応について

〔市長〕 今夏の総決算と熱中症などの救急搬送はどうであったか。

〔市長〕 近年にない猛暑の影響で、市民プールの利用増、清涼飲料水やエアコン・扇風機などの売上増で地域経済への影響も大きい。一方、重症とはならなかったが熱中症で救急搬送された人が8月末で25人。高齢者が6割を占め、発生場所別では屋内での発症が約4割であった。

〔市長〕 農作物への影響は。水稲の作柄概況はやや不良。春先の低温によるもので、むしろ高温により回復基調にある。きゅうりやアスパラガスは収量が低下。果樹はリンゴ等の日焼けによる収量への影響が心配される。

〔市長〕 アメシロやカメムシの異常発生への対応は。



アメシロの被害を受けた樹木

〔市長〕 今回の大発生を踏まえ、広報車での呼びかけ、貸出噴霧器の増数、駆除の相談、業者の紹介などを行いながら対応に努めている。また、カメムシについては「コメ通信」を配布し、被害防止に努めている。

〔市長〕 猛暑に続く豪雪予想は。ラニーニャ現象が冬まで持続すると冬の気温は低下傾向が特徴。9月22日の気象庁の予報を踏まえ、降雪への備えを万全にしたい。

〔市長〕 高齢者戸籍問題と高齢者ケア対応は

〔市長〕 高齢者戸籍問題にどのように対応していくのか。

〔市長〕 今後は、100歳以上の市民の戸籍附票の住所確認

を定期的の実施し、除籍が可能なケースについては、法務局と協議しながら適切に対応する。

〔市長〕 高齢者の生活実態とケアについてどのように取り組むのか。

〔市長〕 100歳以上の方は全員所在を確認済。今後は100歳未満の方々についても正確な把握に努めていく。地域で見守りを進めていく体制については、多くの皆様の協力をいただいていた。今後は、戸別に家庭訪問している事業者などに協力を検討する。

生活道路の補修計画をどのように進めるのか

〔市長〕 道路補修計画や補修の判断基準は。

〔市長〕 パトロールや市民からの要望等をもとに路線を定め、国の補助制度を活用し取り組んでいる。計画の優先順位は、路面の摩耗、わだち、ひび割れ、附属構造物の破損を基準に総合的に評価して決定している。

秋田移住促進について

〔市長〕 市ホームページに移住コーナーの設置と前向きな取り組みを。

〔市長〕 秋田定住支援総合情報ホームページの活用や地域ポータルサイトの活用を検討したい。

●平成21年度決算特別委員会の設置

平成21年度の決算を審議するため、決算特別委員会を9月16日（9月定例会最終日）に設置しました。

11月上旬に委員会を開催して、各会計の審査等を行います。その結果を12月定例会で報告して、認定・不認定を決めます。

各委員は以下のとおりです。(◎委員長 ○副委員長)

一般・特別会計決算特別委員会

◎ <small>おだ なぎ まさゆき</small> 小棚木政之 (平成会)	○ <small>と がし やすたみ</small> 富樫 安民 (市民クラブ)	<small>さ と う かずひで</small> 佐藤 一秀 (平成会)
<small>は た ざ わ い ち ろ う</small> 畠沢 一郎 (平成会)	<small>ふ し わ ら あ き ら</small> 藤原 明 (平成会)	<small>ち ば く ら お</small> 千葉 倉男 (平成会)
<small>あ ぶ か わ ひ さ た か</small> 虻川 久崇 (平成会)	<small>さ さ し ま あ い こ</small> 笹島 愛子 (日本共産党)	<small>あ べ さ た え</small> 安部 貞榮 (いぶき21)
<small>や ぎ は し ま さ た か</small> 八木橋雅孝 (いぶき21)	<small>た な か こ う た ろ う</small> 田中耕太郎 (いぶき21)	<small>た は た み の る</small> 田畑 稔 (市民クラブ)
<small>お く む ら た か と し</small> 奥村 隆俊 (無所属)		

以上13名

企業会計決算特別委員会

◎ <small>た け だ す す む</small> 武田 晋 (平成会)	○ <small>あ か し ひ ろ や す</small> 明石 宏康 (いぶき21)	<small>さ と う て る お</small> 佐藤 照雄 (平成会)
<small>お ば た き よ し</small> 小畑 淳 (平成会)	<small>い と う た け し</small> 伊藤 毅 (平成会)	<small>さ と う ひ さ か つ</small> 佐藤 久勝 (平成会)
<small>ふ し わ ら み さ お</small> 藤原美佐保 (平成会)	<small>よ し わ ら た だ し</small> 吉原 正 (いぶき21)	<small>さ さ き こ う し</small> 佐々木公司 (いぶき21)
<small>そ う ま え み こ</small> 相馬エミ子 (市民クラブ)	<small>た か は し ま つ し</small> 高橋 松治 (市民クラブ)	<small>さい と う の り ゆ き</small> 斉藤 則幸 (公明党)

以上12名

行政視察の 受け入れ状況

(22年度上半期)

- 4月21日
横手市林活議員連盟 17名
- ・ペレットストーブについて
- ・木質ペレット製造について
- 5月12日
東京都あきる野市 7名
- ・廃校利用について
- (旧山田小学校)
- 5月18日
神奈川県寒川町 7名
- ・資源リサイクルの取り組みについて
- ・こでんリサイクルの使用済み機器の回収について
- 6月29日
青森県青森市 2名
- ・市有林の間伐、根切り等について
- ・私有林等への補助について
- 7月13日
秋田県五城目町 17名
- ・木質ペレット製造について
- ・廃校利活用について
- (旧山田小学校)
- 7月22日
奈良県天理市 6名
- ・幼稚園・保育所の授業料・保育料助成について
- ・放課後子ども教室について
- 8月9日
京都府舞鶴市 3名
- ・定住自立圏構想について
- 8月18日
宮城県気仙沼市 8名
- ・少子化対策プロジェクトについて (放課後子ども教室の取り組み)



大館市政治倫理に関する条例が一部改正されました

この条例は、市政をあずかる「市長」「市議会議員」は大館市民全体の奉仕者であることから、市政執行の公正さに対する市民の疑惑や不信を招くような行為の防止を図り、公正で開かれた民主的な大館市政の発展に寄与することを目的として、平成16年に制定されました。

9月定例会では、大館市との請負契約等で守らなければならない事項（第4条）について、次のように一部改正しました。

- 「市長」「市議会議員」「市長・市議会議員の配偶者や親族（父母、祖父母、子、孫、兄弟姉妹）」が実質的に経営に携わっている企業は、大館市との請負契約等を結ぶことを辞退するようにならなければなりません。
- 「市長」「市議会議員」は、実質的に経営に携わっている企業が、市長が定める『有資格業者登録名簿』の中にあるときは、就任した日から30日以内に、「市長」は「市長」へ、「市議会議員」は「議長」へ届け出なければなりません。
- 就任してから実質的に経営に携わっている企業ができたときは、その日から30日以内に届け出なければなりません。
- 届け出た事項に変更があったときは、速やかに届け出なければなりません。
- 「市議会議員」から届け出があったときは、「議長」は速やかに「市長」に報告します。
- 届け出があった企業と大館市が50万円を超える金額の請負契約等を結んだときは、「市長」はその内容を「議長」へ報告します。

※企業とは

一定の目的の下で、継続的に生産、販売、サービスの提供などを行う組織（民間、公の法人かは問いません）

※実質的に経営に携わっている企業とは

役員をしている企業、資本金等に3分の1以上出資している企業、経営方針に関与している企業

市民と市議会との意見交換会を開催しました

下記の日程で開催しました。皆さまよりいただいたご意見は次号でご紹介します。

開催日	開催場所	市民	議員
10/7(木)	比内公民館西館分館	8人	9人
	比内公民館東館分館	6人	6人
10/8(金)	田代公民館早口一分館	15人	6人
	田代公民館岩瀬分館	8人	8人
10/12(火)	下川沿公民館	28人	8人
	真中公民館	2人	8人
10/13(水)	釈迦内公民館	19人	8人
	長木公民館	2人	7人
10/14(木)	十二所公民館	14人	5人
	サンクレア大館	14人	9人
計		116人	74人

※いずれも19時～21時まで開催



田代公民館岩瀬分館での意見交換会の様子



釈迦内公民館での意見交換会の様子

私もひびく・うき

このコーナーではみなさんからの「なまの声」を募集しています。お気軽にご投稿下さい。

大館市ラジオ体操の会 会長

武石 たけいし

弘 ひろ さん (中神明町)



「ラジオ体操で10歳若返りを」

♪「新しい朝が来た 希望の朝が・・・」という、まさに1日の始まりにふさわしい、元氣いっぱいフレーズで始まるラジオ体操の歌。そもそもラジオ体操が始まったのは昭和3年11月1日のことです。東京中央放送局から国民保健体操という名称で放送されたのが最初でした。今年で82周年を迎えることとなります。振り返ってみると、まさに激動の時代でした。人々の生活、社会も大きく変化

しました。モータリゼーションの進化、IT革命による地球規模の情報化社会、都市化、少子化、地域社会における人間関係の希薄化といった傾向が顕著になって、大人・子どもを問わずライフスタイルの多様化が進みました。子どもは塾通いや受験勉強によって体を動かす時間が大幅に減り、夜型の生活をする傾向が強くなりました。このような世の中の変化に影響を受けながらも、今もラジオ体操は事故防止や従業員の健康管理等のために行われている職場や子ども・自営業者・専業主婦・家庭など多くの人たちによって行われています。地域でのラジオ体操は大きく2つに分かれます。主に毎朝、公園や校庭などに集まってラジオ体操を続けている人たちと夏休み期間中に限って小学生らと

一緒に体操する人たちです。毎朝欠かさずラジオ体操をすると心身ともに何とも言い知れない爽快さを覚えます。ラジオ体操の効果を勢いのままに箇条書きすると、食欲、便通、安眠、血色、意志の鍛錬、倦怠感の解消、精神的な落ち着き、勇気、忍耐、根気等が挙げられます。経済効果も訴える人もいます。肩こりがひどく按摩なしでは生活できないほどであった人がラジオ体操で症状が不思議にも消えたという、生活上喜ばしい事例もあります。いつでも・どこでも・誰でも手軽にでき、全身の細胞が活性化されるみんなのラジオ体操を継続し、健康を維持しながら絆を深めたいものです。議員の皆さまもラジオ体操をして心身ともにリフレッシュされてから会議に臨まれてはいかがでしょうか。



ラジオ体操終了大会

市議会を傍聴してみませんか

定例会と臨時会の本会議はどなたでも傍聴できます。

傍聴されるかたは、市役所東側（裁判所側）3階の議場入口で受付簿に住所・氏名等をご記入のうえ、係員の指示に従って議場へお入りください。

なお、団体での傍聴をご希望の場合は、傍聴席の数に限りがありますので、あらかじめ議会事務局にご連絡ください。

☎ 4317108 (直通)

編集後記

ここ数カ月間を振り返ると、記録的な猛暑、高齢者の所在不明問題、国のエコカー補助金終了、尖閣諸島における中国との外交問題等々、課題山積の日本丸。

9月議会も終わり、市民と市議会との意見交換会が5日間、10カ所で開催されました。どんな声が寄せられたのか真摯に耳を傾けなければならないと考えています。

より市民の皆さまに関心を持ってもらえる議会報を目指したいと思っております。
(佐々木公司 記)